

<肺腺癌の要因と病態に関する研究>

平成18年1月から平成21年12月までに当診療科において肺癌の手術を受けられた方を対象に、手術時に切除された癌の組織を用いて、**癌遺伝子が産生する蛋白**につき研究を行っております。

具体的には癌の発生母地に関する因子として **TTF-1**(thyroid transcription factor-1)、上皮成長因子受容体に関する因子として **EGFR**(epidermal growth factor receptor) **pEGFR**(phosphorylated EGFR)、および **HER-2**(human epidermal growth factor receptor type2)、増殖にかかわる因子として **Ki-67**、**VEGF-C** (vascular endothelial growth factor)、**COX-2**、**YB-1** および **Smad6**、性差に関する因子として **ER α** の蛋白発現を調べます。

この研究は川崎医科大学の倫理委員会の審査・承認（承認番号 548）を得ています。手術を受ける際に「手術で採取された病理材料の取り扱いと医学教育・研究使用に関する説明・同意書」にて同意を頂いている方が対象ですが、同意を撤回される希望のある方は川崎医科大学附属病院胸部心臓血管外科ホームページから電子メール、または川崎医科大学附属病院代表(086-462-1111)から胸部心臓血管外科教室(内線 25517) まで連絡をお願いいたします。

【担当者：清水克彦】